

事務事業名	わかくさ図書館維持管理事業		所属部局	教育委員会		単位番号	12436									
			所属課室	市立図書館		課長名	深澤知恵美									
	☐ 実施計画事業		所属担当	わかくさ図書館		担当者名	保坂なおみ									
基本政策	基本計画体系	V個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目						
政 策		22生涯学習ネットワークの整備充実	事業区分	01	一般	1	0	0	4	0	4	0	4	0	0	4
施策		35生涯学習システムの推進		☐ 国の制度による義務的事業	☐ 施設等維持管理事業											
				☐ 県の制度による義務的事業	☐ 補助金交付事業											
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返（開始年度 15 年度）		法令根拠	図書館法、南アルプス市立図書館条例												
	☐ 期間限定複数年度（ ～ 年度）															
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 図書館施設及び備品の適切な維持管理に努め、市民が安全で快適に利用できる環境を提供する。 ・施設及び備品の安全点検 ・施設内の環境美化			事業費の主な内訳（22年度）												
				項目(細節)			金額(千円)			項目(細節)			金額(千円)			
				消耗品費			2			リース料			5			
				修繕料			69			自動車重量税			8			
				手数料			9									
				自動車保険料			19									
							計						112			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	
22年度活動実績	施設及び備品の安全点検、施設内の清掃、地震後の施設点検
23年度活動予定	施設及び備品の安全点検、施設内の清掃
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
図書館施設及び備品	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
図書館施設が利用者にとって安全で快適な空間となる。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
市民が図書館を快適に利用することができる。	

⇒ ⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 安全点検回数	回数
イ 清掃実施回数	回数
ウ	
⇒ ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 図書館延床面積	m ²
イ 備品数	点数
ウ	
⇒ ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 開館日数	日数
イ	
ウ	
⇒ ⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 図書館施設利用者数(来館者のみを除く)	人数
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	67	112	60	162	60	162	
	事業費計 (A)		千円	67	112	60	162	60	162	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1		
		延べ業務時間	時間	153	153	153	153	153	153		
		人件費計 (B)	千円	683	683	606	606	606	606	0	
		(A)+(B)		千円	750	795	666	768	666	768	0
活動指標		アイウ	回数	12.0	14.0	12.0	12.0	12.0	12.0		
		回数	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0			
対象指標		アイウ	m ²	353.0	353.0	353.0	353.0	353.0	353.0		
		点数	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0			
成果指標		アイウ	日数	284.0	284.0	283.0	286.0	284.0	284.0		
上位成果指標		アイ	人数	14,598.0	15,722.0	16,508.0	17,333.0	18,200.0	19,110.0		

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	H15年4月、若草生涯学習センターの併設館として、南アルプス市立わかくさ図書館は開館した。市立図書館の地域館として維持管理されている。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	合併と同時に開館で、市立図書館のネットワークも充実してきており、若草地区だけでなく、多くの市民に利用されている。今後も施設の点検を行い、多くの市民が快適に利用できるようになっている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	施設の面積が狭く書架も限られているので、資料を配架する書架がもっとあると利用しやすい。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	H16年5月より生涯学習センターの一室を借り、幼児向けの本を配架し幼児室として利用している。また、図書館内に学習室として利用できるスペースがないため、生涯学習センターで使用していない部屋があった場合、学習室として利用させてもらっている。(H16年7月より)
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	文化財課より不要になったスチール製書架を貰い、開架書架を増やすことにより、横済みにされていた本が少なくなり、利用者が手に取りやすくなった。

事務事業名	わかさ図書館維持管理事業	所属部	教育委員会	所属課	市立図書館
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 若草地区の図書館として多くの市民に利用されている。子どもの読書活動や生涯学習を支援する施設として欠かせないものであり、目的に結びついている。	
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 既に若草生涯学習センターは、指定管理を受けており、電気料・床ワックス窓清掃等施設に関することはお願いしている。図書館施設が、図書館の運営事業と関わるので市で管理するのが妥当である。	
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 図書館は、利用者にとって図書館が安全で快適な空間となるための施設であり、将来にわたり、維持・継続していく必要がある。図書館は、市民が快適に利用するための施設であり、目的や事業の必要性についても見直す余地はない。	
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 限られたスペースの中ではあるが、書架の配置や環境美化を工夫し、市民が安全で快適に利用できるよう努力する。	
	⑤類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 地域ごとに図書館が配置されており、車に乗れない人でも徒歩や自転車などで行ける地域の図書館として利用されている。 ☒ 類似事務事業がない	
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】	☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 多くの市民から利用されていて、子どもの読書活動や生涯学習を支援しているので、休止・廃止はできない。
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 修繕料は、多く利用されているAV機器の修繕料なのでこれ以上削減できない。清掃用品リースも見積もり等で最低限のコストになっている。車検も2年に1度で削減できない。	
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 現在、正規職員1名、常勤臨時職員2名で業務にあたっているが、正規が1名しかいないので、これ以上の人件費の削減はできない。	
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 地域の住民だけでなく、市内の多くの住民からも利用されていて、子どもの読書活動から大人の生涯学習まで公平にを支援している。	

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	限られたスペースの中で、市民が利用しやすい工夫に努めている。市民がこれからも快適に利用できるよう工夫した環境整備を進める。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可 ☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		(3) 改革・改善による方向性 <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について ① 閉架書庫の配架スペースを広げるなど、限られたスペースの中で工夫する。 ② ③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ① 図書館のスペースが狭く、増えていく資料を置けなくなっている。用紙類や資材などを別の倉庫に移し、閉架書庫の配架スペースを確保する。また開架スペースでも、利用者のニーズに合った情報を提供できるようにコーナーを設けたり、季節ごとに絵本を交換するなど、工夫していく。 ② ③		(5) 事務事業優先度評価結果 <table><tr><td>成果優先度評価結果</td><td>⑫</td></tr><tr><td colspan="2"></td></tr><tr><td>コスト削減優先度評価結果</td><td>⑥</td></tr></table>		成果優先度評価結果	⑫			コスト削減優先度評価結果	⑥															
成果優先度評価結果	⑫																							
コスト削減優先度評価結果	⑥																							